

2019年5月20日号

第170号

毎月2回5日・20日発行

東京都千代田区霞ヶ関2の1の3 国土交通労働組合
電話(03)3580-4244 FAX(03)3593-0359
URL : <http://kokoroso.or.jp>
発行者: 安藤 高弘
1部20円 (組合員の購読料は組合費に含む)

2019年5月20日 国交労組 第170号 (通巻1326号) 昭和37年12月3日 第三種郵便物認可

春闘中間総括をもとに一丸となつて 夏季闘争をとりくもう



本部・支部・分会が一体となり組織の発展をめざすことが求められる

第1回支部代表者会議開催

5月12～13日に第1回支部代表者会議を開催し、支部・本部あわせて65人が参加しました。会議では、「2019年春闘と夏季闘争方針」、「組織強化拡大」、「三大署名のとりくみ」などについて、中間的総括と、今後の三大署名にかかる意志統一を行いました。また、13日には、国会議員会館において、紹介議員要請行動を行いました。

超過勤務上限規制 は有効か?

超過勤務問題にかかわっては、4月から開始された超勤上限について「本省職場ではほとんど課・室が『他律的業務を行う部署』に指定された

が、その基準に疑問が残る」(本省支部)、「整備局は他律的業務の指定はされていないが、特例業務に内に押さえるべきで、特

上限規制に職場の混乱を報告する」(四国港湾空港 細川書記長)

例業務には制限がない制度設計になっている」(東北建設)などの実態が報告されました。こうして実態を改善させるためにも「超勤ありきではなく、勤務時間内で終わるような業務量・人を求めることが基本。だからこそ国会請願署名を本気でとりくまなければいけない」(近畿建設)との意見も出され、三大署名の重要性を参加者全体で再確認しました。

人事院は、他律的業務を行う部署について、実態調査を実施する見込みです。超過勤務は臨時又は緊急の必要がある場合に命令されるものであり、慢性的な超過勤務は体制拡充など根本的な解決が不可欠です。やむなく超過勤務を行う場合にも、不払いとならないよう、各職場で毅然ととりくむ必要があります。

地区労連に加盟し運動を発展させると意気込む神戸管製 五味川支部長

暑いですが穏やかな季節になりました。連休中はメーデーからはじまり、憲法集会、平和行進と全国各地で熱いとくみ報告では、「徹底してわかりやすい言葉を使うことが大切」(東京気象)、「新規採用者の不満を丁寧に聞き、組合のとりくみで解決できることを説明した結果、加入を迎えた」(北陸建設)など

とりくみを共有し 拡大しよう

国土交通労組の最重要課題である組織拡大については、4～6月で実施している組織拡大月間の中間的総括として、4月末時点の新規採用者への組織拡大が108人対象者数947人にとどまります。また、新規採用者以外も含めて組織拡大がすすんでいないことに危機感をもつてとりくみを共有し、奮闘する決意を固め合いました。

九州建設支部分に専従で配置している組織拡大推進本部長のとりくみを報告する九州建設 塩塚委員長

が報告され、こうした成果を全体で共有し、奮闘する声をかけ、どんな配慮が必要なのかわからずの不安が複数の支部から出されました。また、障害者への加入呼びかけについて「どうやって声をかけ、どんな配慮が必要なのかわからない」との不安が複数の支部から出されました。障害者のなかまを迎え入るためには、より丁寧な取り組みを全支部で共有し、組織拡大をこれまで以上にススメていくことを意志統一しました。

組織拡大を旺盛にすすめるためにも工夫して呼びかけていくことを意識统一しました。組織拡大を旺盛にすすめるため、関東地区の支部・分会に対し、集中的に本部オルグに入ることが提起され、確認されました。この関東集中本部オルグで構築されるノウハウを全支部で共有し、組織拡大をこれまで以上にススメていくことを意志統一しました。

地区労連で運動を発展させると意気込む

奄美地方は梅雨に入り、全国的に

暑いですが穏やかな季節になりました。連休中はメーデーからはじまり、憲法集会、平和行進と全国各地で熱いとくみ報告では、「徹底して

わかりやすい言葉を使うことが大切」(東京気象)、「新規採用者の不満を丁寧に聞き、組合のとりくみで解決できることを説明した結果、加入を迎えた」(北陸建設)など

が報告され、「徹底して

わかりやすい言葉を使うこと

これが大切」(東京気象)、「新規採用者の不満を丁寧に聞き、組合のとりくみで解決できることを説明した結果、加入を迎えた」(北陸建設)など

が報告され、「徹底して